



夏休み中に取り組んだそれぞれの課題や、入試勉強で、「この教科苦手だな。」と思っている人、あきらめないでください。図書館には、教科学習に役立つ本をたくさん置いています。

他にもたくさんありますので、自分に合った本を見つけてください。見つからない時は、カウンターに尋ねてください。

天高図書館は1学期に引き続き、コロナ対策を推進しております。ご協力お願いいたします。

数学が苦手な人!!
学び直しに
ピッタリの2冊。

『生き抜くための中学数学』
『生き抜くための高校数学』
芳沢 光雄 著 日本図書センター

私は確率が苦手です。今、この本を読んで、ちょっとわかった気になっています。数学超苦手な私を、わかったと思わせるんですが、ちょっと苦手ぐらいのみなさんなら、中学からやり直せば、受験に間に合うことでしょう。苦手意識がなくなって、得意科目になるかもしれません。「わたしなんてわかったのかなあ?」と考えてみると、この本の特徴は、記号や数式より、理解しやすい文章が書いてあって、それを読んでいだけで理解できます。著者が「説明力」を持っている人なんでしょうね。

『夢を叶えるための勉強法』
鈴木 光 著 KADOKAWA

この本は以前、新着図書で紹介しましたが、その後2人から問い合わせがあり、今も貸出中となっています。なぜ、そんなに人気があるのだろうかと考えました。「鈴木さんがかわいいから?!」それもあるかもしれませんが、彼女の説得力ある言動が、この本を読みたいと思わせているのだと、この本を読んでわかりました。



勉強の仕方に悩んでいる人!!
「勉強法」のプロから学ぼう。

『東大女子のノート術』
みおりん 著 エクシア出版

ノート術、勉強法、どちらも完璧にこなせば志望校に合格できそうな気がします。何事も、こつこつと手を抜かずやり抜けば、道は開けてくる!ということですね。「ノートを4冊用意する」というところは正直面倒な感じもしますが、、、これだけは、はっきりとわかりました。授業を一番大切にすること、先生の雑談すらメモすること。これなしには、合格はあり得ない!!



人気作家による現代語訳!!
古典をもっと
身近に

『日本文学全集』 池澤夏樹 編集 河出書房新社

古典は苦手という人にぜひ、読んでもらいたいシリーズです。「源氏物語」(角田光代 訳)「枕草子」(酒井順子 訳)「宇治拾遺物語」(町田康 訳)、人気作家によるとても読みやすい現代語訳になっています。入試は、どの作品のどこが出るかはわかりませんが、もし訳を知っていれば、こんなにラッキーな事はありませんよね。物語としても十分に楽しめる全集です。全29巻。授業で習った作品から、読んでください。



英語多読におすすめ!!
ラダーシリーズ

使用する単語が制限されていて、レベル1~5の段階別になっています。自分にあったレベルの本を読むことができ、多読をするにはピッタリの本です。

- 多読とは、
1. 辞書はひかない
 2. 分からないところは飛ばす
 3. 合わないと思ったら、別の本にする

以上の事を参考にして、どんどん英語を読み進め、苦手意識をなくしてください。

『頭のよさとは「説明力」だ』
齋藤 孝 著 講談社

「〇〇について一分間で説明してください。」これは、齋藤先生が大学の授業で最初にだす課題です。約9割の学生は前置きが長すぎてまとまらないそうです。なぜなら、誰も要領よく話をまとめる訓練をしていないからです。だからと同じ事ばかり繰り返し、まとまりのない話をしていると、「話の長い人」というネガティブな評価をされてしまいます。この本はまさに、そんな人のための「説明カトレーニング本」です。面接やプレゼン、日常会話において「わかりやすさ」という武器を手に入れ、知的な「説明力」を身につけて「頭のよい人」になりましょう。

